

スポーツ人口拡大につながる
ウォーキングについては
市の考え

スポーツ活動の
きっかけづくりになる
運動と捉えている

清水 勝 議員(市友) 市内には自然も多く、ウォーキングを楽しめる公園やコースが多くあると思うが、スポーツ人口の裾野を拡大するきっかけ



▲ウォーキングでスポーツのきっかけづくり活動のきつかけづくりを福社保健部長 どのマッ

待機児童ゼロに向けた
市の決意は

最重要施策の一つとして
効果的に推進する必要がある

増山 明香 議員(市政) 第6次府中市総合計画では、待機児童ゼロは平成29年度までの目標であったが、想定を上回る保育需要から33年度に先延ばしとなった。そのような中、改めて待機児童ゼロに向けた市の決意を聞きたい。

市長 同計画後期基本計画(案)では、改めて待機児童解消を最重要施策の一つとして位置付け、多様な教育・保育サービスの体制づくり等、待機児童ゼロの実現に向けた取組を実施していく。

公共施設における長寿命化の課題
市はどのように考えるか

施設の存続が市民ニーズに対応
適切な対応が必要であるかを
検討する必要がある

目黒 重夫 議員(共産) 平成30年度から始まる第2次府中市公共施設マネジメント推進プランについて、市は計画的な保全に関わるモデル事業として、各施設で予防保全を実施し、施設の長寿命化による財政負担の平準化などを図ると聞くが、長寿命化とはどのようなものか。

行政管理局長 耐用年数が60年から65年とされる鉄筋コンクリートの建物寿命を外壁の再塗装などにより、80年程度まで延長するものである。

非常用発電機の定期点検を
適切に行うよう促すべきと
思うが市の考えは

定期点検の実態把握と
定期的な動作確認について
各施設へ周知を図っていく

西村 陸 議員(公明) 発電機は、発電しない状態が長時間続くと動作しなくなる場合があると聞く。そのため、市内各公共施設に設置されている非常用発電機の定期点検の実態を調査し、適切に行うよう促すべきと思うが市の考えは、

行政管理局長 定期点検の実態把握に努めるとともに、点検内容の確認や定期的な動作確認について、各施設へ周知を図っていく。



▲災害対応型のプロパンガス設備

観光ボランティアなど
外国籍市民が活躍できる
機会を創出する考えは

文化的背景を生かした
おもてなし体制の構築を
検討していきたい

稲津 憲護 議員(リベ) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等の開催に伴い、市では、異文化理解と多文化共生の社会をいかに構築できるかが今後の大きなポイントになると思うが、多文化共生社会の推進について、市の考えを聞きたい。



▲外国人講師によるダンス教室(国際交流サロン)

持続可能な開発目標
市SDGsの認識は

国の動向や施策を踏まえ
着実に進めていきたい

福田 千夏 議員(公明) 平成27年9月の国連サミットで採択された持続可能な開発目標SDGsについては、誰一人取り残さないを理念に貧困や飢餓の根絶、環境保全といった17項目の目標を掲げている。しかしながら、言葉が非常に分かりにくいという難点があり、理念と推進の必要性をいかに分かりやすく伝えるかが重要な課題である。

SDGsについては、市が今まで市民に推進してきた取組を結びつけ、意識を持って

生かしたおもてなしを行うことも考えられるため、このような取組も含めたおもてなし体制の構築を検討していきたいと考えている。

国民健康保険税の滞納の多くが
低所得者であることについて
市の認識

他の保険制度に比べ所得の低い方が
多くを占める状況が
問題ではないかと認識している

赤野 秀二 議員(共産) 平成30年度から国民健康保険(国保)の事務が都道府県単位に広域化されることに関連して、国保財政における赤字解消について、一般会計繰入金のうち、決算補填等目的のものが対象になるものと考えられ、市においては、その他一般会計繰入金の一部が補填の対象になると聞く。

そこで、この繰入金により国保の赤字を解消した場合、保険税はいくら増えるのか。

市民部長 28年度決算の見込み額を世帯数で割り返すと、1世帯当たり、約6万7430円の負担増と推測している。

議員 国保税滞納の所得別状況で、滞納の多くが低所得者であることについて、国保制度の構造に問題があると言われているが、市の認識は、

市民部長 他の保険制度に比べて被保険者の年齢構成が高いことや給与収入等がある被保険者の割合が減り、年金生活者などの所得の低い方が多くを占める状況が問題ではないかと認識している。